



## 第22回例会報告 \*通算例会回数4166回目\* (2月1日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

## 【 出 席 報 告 】

・会員数 51名  
 ・当日出席率 87.50%  
 <欠席会員>平田、片山、小堀、桑森、坂本、八木(伸)  
 [免除会員] 檜垣(巧)、八木(正)  
 <1/18 欠席補填>(1/29 今治北)相原、平田、廣川、板脇、木村(敏)、小堀、久米、宮道、村上、西信、岡本、坂本、八木(伸)  
 (1/19 高知西)阿部

・出席数 43名  
 ・前々回修正出席率 100%  
 ・欠席数 8名

## ◇幹事報告

- ・例会終了後大会議室にて2月定例理事会を開催しました。
- ・2月ロータリーレートは1ドル147円となっております。
- ・ロータリー米山記念奨学会より、重松会員に米山功労者感謝状が届きましたので、贈呈いたしました。
- ・京都南RC創立70周年事業「京都発ARTのチカラ～未来のアーティストたちの真剣勝負」というタイトルでテレビ放送される予定です。BS11【日本BS放送】2月11日(日)19:00～19:58

☆今治北ロータリークラブ水源の森事業のご案内☆

今治北RC水源の森事業(ケヤキ植栽)を2月25日(日)9時30分～11時00分(予定)、玉川町にて行います。雨天時は3月3日(日)に順延予定。欠席補填対象になりますので参加ご協力をお願いします。【出欠締切期日:2月19日(月)午前中】

## ◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ

- ・廣川怜史会員:なかなか例会に出席出来ず申し訳ございません。これからもよろしく願いいたします。

## 令和5年度 今治明德高校インターアクト部活動報告～三大会を主催して～

◆今治明德高校矢田分校IAC部長内山友香さん、幹事三宅寛仁さん:私たち、今治明德高校矢田分校インターアクト部は、国際ロータリー第2670地区における、インターアクト部幹事校として、今年度、三つの大会に参加しました。4月に高松で開催された第10回全国インターアクト研究会、6月に四国中央市で開催された国際ロータリー第2670地区インターアクト会長・幹事研修会、それから、7月末の二日間、明德短大と里山スタジアムを舞台に開催された、国際ロータリー第2670地区インターアクト年次大会です。コロナ禍による三年間のブランクを経て、四国地区のインターアクターが一堂に集う大会が、今年元どおり開けることになりました。おまけに第10回全国研修会まで担当するというのです。私たちにとってはすべてが初めての体験で、その上、ホスト校としておもてなしする側です。大きな不安の中で準備が始まりました。が、今治RC阿部さん、田中さんのご指導の下、みんなで協力しながら準備を進めていくうちに、期待の方が大きくなっていきました。▼昨年12月に神奈川県インターアクターを迎えての交流会があり、その体験から、イベントの概要をおぼろげながらつかむことができ、今年、大きな大会を三つも主催することができたのだと思います。ご指導・ご協力くださった、ロータリアンの方々や、今治、夢スポーツの皆さま、今治市役所の住吉さん、先生方に心よりお礼申し上げます。

◎4月22日(土)に開催された第10回全国インターアクト研究会について「四国版お接待の発信～人を思いやる気持ち～」をテーマに、日本全国から、インターアクター及び顧問、ロータリアン、約135名が、高松市の高松国際ホテルに集まりました。矢田分校からは、3年生8名と顧問1名が参加しました。朝7時にジャンボタクシーで矢田分校を出発し、会場に到着しました。四国四県から2校ずつ幹事校が選ばれ、愛媛県からは新居浜西高校と矢田分校が担当しました。私たちは、全体の受付と、開会式でのインターアクター地区代表挨拶、インターアクター交流会「君も、四国博士になろう!」を担当しました。13時、大会は、サプライズの阿波踊りで開幕しました。徳島商業高校の阿波踊り部のみなさんが、にぎやかなヨシコノのリズムで、迫力ある阿波踊りを披露してくれました。私は、阿波踊りを見るのは初めてでしたが、生徒たちの楽しそうな表情が印象に残りました。続いて、開会式では、香川県知事の池田さんや第2670地区ガバナーの八田さんはじめ、多くの方が祝辞を述べられました。そんな中、部長の内山が第2670地区のインターアクターを代表して、歓迎の挨拶をしました。続いて、元JR四国会長、現在は「NPO 法人 遍路とおもてなしのネットワーク」理事長である松田 清宏さんによる基調講演「四国遍路『歴史』・『現代』・『文化』」があり、四国遍路について学ぶことが出来ました。▼次に、インターアクター交流会「君も、四国博士になろう!」です。私たちは、愛媛県代表として、愛媛県に関するクイズを出題することになりました。事前にクイズを作成するにあたって、愛媛県について詳しく調べていくうちに、自分が知らなかった愛媛県を改めて知ることができたのも、大きな収穫でした。三宅は阿部さんとともに司会を務め、残り8人が手分けして、出題、問題用紙の配布・回収・採点を担当しました。▼私個人としては、前年12月の神奈川県インターアクターとの交流会以来、2度目の司会を務めさせていただきました。本番は、レーザーポインターが機能しないといったハプニングもありましたが、どうにか対応することができました。しかし、まだ2度目の経験でしたので、至らなかった部分もあり、反省すべき点もありました。この経験から大会スタッフとして、臨機応変に対応することの大切さを学びました。▼この後、全国インターアクト研究会 実行委員長である、三木 明さんの講演「インターアクター・顧問・ロータリアンへのメッセージ」があり、ロータリークラブやインターアクトクラブの歴史・意義を学ぶことが出来ました。この後、17時45分からの閉会行事で、緊張の連続だった初めての全国大会は終わりました。引き続き、18時10分から、同ホテルで懇親会があり、讃岐うどんなどのご馳走をいただきながら、ビンゴゲームでたくさんの商品をいただき、21時30分に分校に帰着しました。朝早くから夜遅くまで、緊張の連続でしたが、全国に友達ができ、有意義な大会でした。帰りのタクシーのなかで、どうしたら、この体験を次の行事に生かせるか、みんなで話し合いました。

◎6月4日(日)3年ぶりの開催となった、国際ロータリー第2670地区インターアクトクラブ会長・幹事研修会について

「Start！動きだそう！～SDGs、実践の可能性～」をテーマに、四国中央市福祉会館4階多目的ホールで、16校99名のインターアクター及び顧問、ロータリアン 32 名が参加して開催されました。幹事校である矢田分校からは、1年生から3年生までの部員24名が参加しました。この会での目標は、「準備・運営・片付けまですべてを生徒主体で行う」というものでした。▼当日の朝、7時30分に矢田分校を出発し、貸し切りバスで、旧伊予三島市にある四国中央市福祉会館に向かいました。会場に着くと、地区役員の方たちがすでに会場設定を終えてくれていました。その後、受付、案内・誘導の3チームに分かれて、参加者をお迎えしました。11:30から、開会式・オリエンテーションです。3年生を中心に役割分担し、何度もリハーサルしたおかげで、緊張しながらも無事に終わることが出来ました。そうして、いよいよメインとなるカードゲーム「SDGs de 地方創生～つながりの可能性を信じて行動しよう～」です。ファシリテーターは、今治市役所の住吉 淳さん、ゲームサポートとして新居浜市役所の大西 政年さんもご参加下さいました。「SDGs カードゲーム」は、「講座」・「フィールドワーク」・「対話」・「考察」の`4in1、の特性を持ちながら、しかも「楽しめる」という、非常に優れた画期的な教育プログラムです。住吉さんの説明の後、A町・B町の2班に分かれ、SDGsの実践としての地方創生を、ゲームの世界の仮想の町で実感することを目標に、活動しました。参加者は、住民グループ・行政グループに分かれ、カード化された資金や資源を使ってプロジェクトを達成していきます。初めは交渉の仕方が分からず戸惑うこともあり、なかなかプロジェクトが達成できませんでした。しかし、プロジェクトを一つ達成すると、だんだんと楽しくなり、積極的に話かけていくようになりました。夢中になって活動し、三時間があっという間でした。また、交渉を通じて多くの仲間ができました。交渉中や話し合い中も、とても楽しい時間を過ごすことができました。おそらくこの大会に参加していなければ、彼らとは出会えていなかったかもしれません。本当に心に残る大会になったと思います。15時45分から閉会式でした。会長挨拶で、7月の年次大会についてご案内しこの会を終えました。会場片付けを引き受けて下さった地区役員の方皆さん、ほんとうに有り難うございました。

◎7月29日、30日に開催されたインターアクトクラブ年次大会について2023-2024年度 国際ロータリー第2670地区インターアクトクラブ年次大会は、「Start！動きだそう！～SDGs、実践の可能性～」をテーマに、今治明德短期大学3号館と今治里山スタジアムをお借りして、一泊二日の日程で開催されました。四国四県より、19校129人のインターアクター及び顧問、来賓・ロータリアンを含めて約200名が参加下さいました。感染症の再流行や梅雨明け即酷暑のためか、分校生1名を含む15人の直前キャンセルがあり、予想より小規模な大会となりました。しかし、第2670地区ガバナー事務所、今治RC、株式会社今治、夢スポーツのご協力を得て、矢田分校インターアクト部はホストクラブの大役を果たし、大過なく今大会を終えることができました。特に、梅雨明けの好天の下、ロータリアンの皆様には、大会準備から、運営、写真配布などの様々な面でご協力いただきました。おかげさまで、大きな充実感をもって無事に終了することが出来ました。ほんとうに有り難うございました。私たちは、この大会でも、「生徒一人ひとりが主体となって大会に参加し、運営する」ことを目標として設定しました。部員全員が、『おもてなし』の精神で、準備から片付けまで、精一杯活動しました。3年生は最後の大会となり、私たちも、4度目の司会と歓迎挨拶を担当しました。▼第一日目は、9:00に短大大講義室に集合し、会場整備やさまざまな再確認の後、参加校のみなさんをお迎えしました。受付後、まず写真撮影をし、その後2、3階の教室で昼食を取ってもらうという段取りです。分校生は、受付、案内、お弁当の3班に分かれ、それぞれ自分の役割を果たすことが出来ました。開会式では、今治市長さんを始め、多くの方々の祝辞をいただきました。また、全国大会の活動報告や新加入ロータリークラブの紹介とバナー交換がありました。午後の基調講演は、(株)今治、夢スポーツ代表取締役会長であり、今治明德学園学園長でもある岡田武史さんと、同社代表取締役社長の矢野将文さんより講演をいただく予定でしたが、岡田さんは体調不良により残念ながらご出席はかないませんでした。『FC今治の挑戦』の題した講演では、夢スポーツの経営理念やサッカーを通じて今治を活性化したいというお話がありました。続いて、夢スポーツの中川さんによるレクチャー「里山スタジアムの魅力」があり、FC今治創設の理念や、これからの活動目標を楽しく学ぶことが出来ました。その後、宿舎に移動したあと、夕方より里山スタジアムに移動し、夢スポーツ様のご招待で、FC 今治対テゲバジャール宮崎の試合を、メインスタジアムから観戦しました。夕食に、今治名物の焼豚玉子飯とセンザンキをいただきながら、試合に熱中しました。試合は、FC今治の圧勝でした！その後、バスで宿舎であるスーパーホテル今治に移動し、清々しい気持ちで床に就きました。▼二日目は、朝、8:30にバスに乗って里山スタジアムに移動し、まず、里山スタジアムを見学しました。観客席はもちろんのこと、特別にVIP席や放送席にも案内していただきました。スタジアムツアー終了後、会議室に集まりディスカッションを行いました。テーマは「SDGsの実践例～里山スタジアムを365日賑わう場所にするには～」です。6月の会長幹事研修会でのカードゲームを現実の町でどう実践するか、今回は、里山スタジアムを舞台に、具体的、現実的に考える活動に取り組みました。参加したインターアクターは17班に分かれ、班ごとに意見を出し合っ、鳥の子用紙にまとめ、発表しました。地域を活性化しながら、SDGsにも配慮した案がたくさんありました。中でも多かったのが、地元の企業との協力事業でした。多くのインターアクターが、地域一体となって地域活性化・SDGsの達成に努めるのがよいと考えていたようです。大会の最終行事である閉会式は、メインスタジアムを特別にお借りして行いました。初めての屋外での閉会式で、司会・運営をさせていただき、貴重な体験となりました。その後、会議室にもどって片付けをし、解散しました。

◎最後に私がこの計4回の大会で感じたことは、自分の役割をしっかりと務めることの大切さです。私たち二人は、すべての大会で、歓迎挨拶や司会の役割をいただき、精一杯務めさせていただきました。なかなか思うようにいかず、至らない点も多々あったと思います。しかし、皆さまのご指導のおかげで、この大任を無事果たすことができ、7月の年次大会では、ガバナーの吉岡様をはじめ、多くの地区役員の方々やロータリアンの方々からお褒めの言葉をいただくことができました。本当にありがとうございました。なにより、この活動を通して、チームワークやリーダーシップについて考えることが多く、個人として成長できたと思います。また、将来もボランティア活動を続けていこうと思うようになりました。また、多くの大会で司会を務めさせていただいたことは、これからの自分にとって大きな財産になると思います。私たち矢田分校インターアクト部に任せてくださり、ほんとうに有り難うございました。以上で、2023-24年度の矢田分校インターアクト部の活動報告を終わります。ご清聴有り難うございました。

< ゲスト > 今治明德高校矢田分校 今井 省三様、近藤 都様、内山 友香さん、三宅 寛仁さん

次回例会(2月8日)

【 職業奉仕委員会アワー 】

< 配偶者誕生日祝 > 宮道 勝敏氏 (2/12) 瀧口 透氏 (2/13)

< 結婚記念日祝 > 越智 大輔氏 (2/10)

〔 今治国際ホテル 〕

※例会出欠連絡は、前日16時までにご連絡よろしくお願い致します。(人数連絡が前日締切の為)